# 母性看護学・助産学分野年報 No.16

**Activity Report on Department of Midwifery and Women's Health**

平成 29 年度

**2017.4-2018.3**

東京大学大学院　医学系研究科　健康科学・看護学専攻
母性看護学・助産学分野
Department of Midwifery and Women's Health,
Division of Health Sciences and Nursing,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

# 目　　次

１．はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．研究業績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）原著・報告
（２）総説・解説など
（３）著書・報告書
（４）学会発表
（５）シンポジウム・セミナーなど
（６）受賞

３．研究活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（１）抄読会　＆　研究報告会
（２）研究プロジェクト

４．教育活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
（１）学部講義
（２）学部実習
（３）大学院講義
（４）大学院実習
（５）博士論文
（６）修士論文

５．学内外の活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
（１）学内の活動・役割
（２）学外の活動・役割
（３）その他（学内外における講義・講演など）

６．教室日誌　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

７．教室員名簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

## １．　はじめに

平成29年度 母性看護学・助産学分野では、博士1名、修士3名が学位を取得しました。平成14年6月に教室が設置されて以来の学位取得者は、通算で博士13名、修士23名となります。博士、修士課程での研究を一日も早く論文として公開し、社会に還元し、実践や次の研究につなげることが今後の課題です。また平成26年4月から開始した修士課程での助産師教育コースでは、3期生となる修了生2名を新人助産師として送りだすことができました。臨床現場での活躍と、数年後には現場での経験をいかして臨床に根ざした研究を博士課程で実施してくれることを期待しています。大学院での助産師教育の実施にあたり、ご尽力くださいました皆様には心より感謝申し上げます。

教室の研究も妊娠・出産・産褥・新生児を対象としたこれまでの研究プロジェクトに加え、国外をフィールドとした研究も軌道に乗り始めたところです。エルサルバドルにおける科学的根拠に基づいた人間的出産プロジェクト、またモンゴルにおける妊婦の受動喫煙に関する調査は、マタニティケアの根幹に関わる未解決な課題に挑戦するものであり、これらの成果についても国内外を問わず、情報発信と現場のケアの改善につなげられるように、努力を重ねていきたいと思っています。

臨床経験や子育てなどで、休学する学生も含めて在籍する大学院生は15名となります。ワーク・ライフ・バランスが当たり前になって、研究を継続していけるような支援や、学位取得後も十分に研究を継続できる環境を整えていくことも課題としています。

当分野では専門性を深めつつ、国内外の専門家や他領域の方々とも連携し、これまで以上に研究と教育のレベルを高めていくことを目指しています。

今後もご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年3月末日

春名めぐみ

## ２．研究業績

### （1）原著・報告

Haruna, M., Matsuzaki, M., Shiraishi, M., Yeo, S. (2017). Physical exercise during pregnancy and its related factors: An observational study in Japan. *Asian/Pacific Island Nursing Journal*, 2(4):166-173.

Sasagawa, E., Elías de Buendía, L., Ortiz Avendaño, GA., Díaz de Navarro, AM., Barrera Erazo, HA., Sandoval López, DX., Cedillos, RA., Kita, K., Misago, C. (2017). A Comparison of Blood Loss Determination After Vaginal Delivery in El Salvador: Visual Estimation Versus Direct Measurement. *International Journal of Nursing and Health Science*, 4(6): 81-71.

Hikita, N., Haruna, M., Matsuzaki, M., Sasagawa, E., Murata, M., Oidovsuren, O., Yura, A. (2017). Prevalence and risk factors of secondhand smoke (SHS) exposure among pregnant women in Mongolia. *Scientific Reports*, 27;7(1):16426.

Shiraishi, M., Haruna, M., Matsuzaki, M. Murayama, R., Sasaki, S. (2017). Availability of two self-administered diet history questionnaires for pregnant Japanese women: A validation study using 24-hour urinary markers. *Journal of epidemiology*, 27(4):172-179.

Yonezawa K, Haruna M, Matsuzaki M, Shiraishi M, Kojima R. (2018). Effects of moisturizing skincare on skin barrier function and the prevention of skin problems in 3-month-old infants: A randomized controlled trial The Journal of Dermatology, 45; 24-30.

Hikita, N., Haruna, M., Matsuzaki, M., Shiraishi, M., Takehara, K., Dagvadorj, A., Sumya, N., Bavuusuren, B., Baljinnyam, P., Ota, E., Mori, R. (2018). Utilisation of maternal and child health handbook in Mongolia: A cross-sectional study. Health Education Journal, 1-12.

Matsuzaki, M., Kusaka, M., Sugimoto, T., Shiraishi, M., Kobayashi, R., Watanabe, S., Haruna, M. (2018). The Effects of a Yoga Exercise and Nutritional Guidance Program on Pregnancy Outcomes Among Healthy Pregnant Japanese Women: A Study Protocol for a Randomized Controlled Trial. *Journal of alternative and complementary medicine*, 14.

米澤かおり、春名めぐみ、松崎政代 (2017). 「新生児期の皮膚トラブル実態とその関連要因 (Prevalence and risk factors for skin problems among newborns).」日本助産学会誌, 31(2): 111-119.

米澤かおり、春名めぐみ、松崎政代. (2018).「母親の新生児皮膚に対する心配事の対処方法と関連する不安の実態 (How mothers deal with when they experienced any anxiety about their newborns' skin, and handling the related anxiety.)」日本母性衛生学会誌, 58(4): 648-654.

島沙槻、春名めぐみ、松崎政代、笹川恵美、米澤かおり (2018).「働く女性の復職後の母乳栄養継続に関連する要因の検討」東京母性衛生学会誌 (in press)

## （2）総説・解説など

笹川恵美 (2017)［会員の声］太平洋の孤島、ナウル共和国での活動. 国際保健医療, 32(2), 113-115.

春名めぐみ 監修. (2017). 産前産後のガイドブックシリーズ. 安心マタニティライフ. 社会保険出版社..

春名めぐみ 監修. (2017). 産前産後のガイドブックシリーズ. 産後のケアと過ごし方. 社会保険出版社..

春名めぐみ 監修. (2017). 産前産後のガイドブックシリーズ. ワーキングママを支える制度. 社会保険出版社..

## （3）著書・報告書

福井トシ子　編, 春名めぐみ, 他 17 名著. (2018). 新版　助産師業務要覧　第 3 版　[ I 基礎編 ], 日本看護協会出版会.

入山茂美, 春名めぐみ, 大林陽子編, 春名めぐみ, 他 15 名著. (2018). 現代の母性看護 [概論], 名古屋大学出版会.

我部山キヨ子, 武谷雄二編, 春名めぐみ, 他 12 名著. (2017). 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期, 第 5 版 5 刷　第 6 章 妊婦への支援, 210-88, 医学書院.

我部山キヨ子, 武谷雄二編, 春名めぐみ, 他 9 名著. (2017). 助産学講座 1 基礎助産学[1] 助産学概論, 第 5 版 4 刷　第 3 章 助産学を構成する理論, 54-61, 医学書院.

米澤かおり
平成 28 年度　政策医療振興財団　研究助成報告書
「新生児のスキンケアガイドライン作成を目指した新生児期のスキンケアと２歳時点でのアレルギー疾患の関連の検討」

米澤かおり
第54回（平成28年度）三島海雲記念財団　学術研究奨励金　個人研究奨励金（自然科学部門）　研究報告書
「食物アレルギー予防を目標とした 2 歳児の食物アレルギーと乳児期の皮膚トラブルとの関連検討」

**（4）学会発表**

米澤かおり、春名めぐみ. 母の妊娠糖尿病合併有無による、出生後の新生児皮膚トラブルへの関連検討. 第 35 回東京母性衛生学会学術集会. 東京都, 東京大学鉄門記念講堂. 2017 年 5 月 28 日.

臼井由利子、春名めぐみ、松崎政代、笹川恵美、米澤かおり. 乳幼児を育てる働く女性の日中の過度な眠気に関連する要因:横断研究. 第 35 回東京母性衛生学会学術集会. 東京都, 東京大学鉄門記念講堂. 2017 年 5 月 28 日.

島沙槻、春名めぐみ、松崎政代、笹川恵美、米澤かおり. 復職後の母乳栄養継続に関連する要因の検討. 第 35 回東京母性衛生学会学術集会. 東京都, 東京大学鉄門記念講堂. 2017 年 5 月 28 日.

笹川恵美、春名めぐみ、三砂ちづる. エルサルバドル国立女性病院における妊産婦死亡の実態と要因. 第58回日本母性衛生学会学術集会. 兵庫県, 神戸国際展示場. 2017 年 10 月 6-7 日.

米澤かおり、春名めぐみ. 生後2~3か月児の屋外外出時間・紫外線対策の実態とその関連要因. 第58回日本母性衛生学会学術集会. 兵庫県, 神戸国際展示場. 2017 年 10 月 6-7 日.

志賀咲月、春名めぐみ、米澤かおり. 新生児と乳児の顔・臀部・四肢体幹の皮膚トラブル発症時期の実態調査(優秀演題として愛育コメディカル賞受賞). 第 58 回日本母性衛生学会学術集会. 兵庫県, 神戸国際展示場. 2017 年 10 月 6-7 日.

笹川恵美、Elias de Buendia Lizeth, Diaz de Navarro Alba Marina、Sandoval Lopez Dalia Xochitl、春名めぐみ、三砂ちづる　エルサルバドルにおける重症産科合併症により ICU へ入院経験がある妊産婦ニアミス症例の実態. グローバルヘルス合同大会 2017. 東京都,　東京大学本郷キャンパス. 2017 年 11 月 24～26 日.

Hikita, N., Haruna, M., Matsuzaki, M., Sasagawa, E., Murata, M., Yura, A., Oidovsuren, O. Comparison of knowledge regarding smoking and passive smoking between pregnant women and their partners in Darkhan-Uul Province, Mongolia. (Poster presentation). グローバルヘルス合同大会 2017. 東京都,　東京大学本郷キャンパス. 2017 年 11 月 24～26 日.

米澤かおり、春名めぐみ　乳児皮膚トラブル症状の養育者による評価の妥当性検証. 第32回日本助産学会学術集会　神奈川県, パシフィコ横浜会議センター. 2018 年 3 月 3～4 日.

笹川恵美、春名めぐみ　女性の権利としての出産ヒューマニゼーション―「暴力的出産」の視点から. 第 32 回日本助産学会学術集会. 神奈川県, パシフィコ横浜会議センター. 2018 年 3 月 3～4 日.

春名めぐみ、臼井由利子、米澤かおり、駒田茉莉子、笹川恵美、疋田直子、前田由美、池田優花、小峰えりか. 働く女性のメンタルヘルスに関連する職場環境と健康上の問題. 第 32 回日本助産学会学術集会. 神奈川県, パシフィコ横浜会議センター. 2018 年 3 月 3～4 日.

## （5）シンポジウム・セミナーなど

春名めぐみ（講師）
DOHaD 疫学セミナー第 3 回例会
「妊婦の栄養：食事指導で栄養摂取は変えられる？」
2017 年 7 月 22 日（土）中央大学駿河台記念館（東京）

春名めぐみ（座長）永松健（座長）
第 35 回東京母性衛生学会学術集会
シンポジウム　妊娠中の至適な食生活と栄養指導のあり方を考える
2017 年 5 月 28 日（日）東京大学鉄門記念講堂（東京）

春名めぐみ（座長）
第 32 回日本助産学会学術集会
一般演題　教育
2018 年 3 月 4 日（日）パシフィコ横浜（神奈川）

笹川恵美（座長）
グローバルヘルス合同大会 2017
2017 年 11 月 25 日（土）　東京大学本郷キャンパス（東京）
ポスターセッション　地域保健（その他地域保健）

矢島床子, 笹川恵美, 三砂ちづる（講師）
「地域で支える生・老・病・死」 分科会　1. 地域で産み育てる～自然なお産～
主催：特定非営利活動法人　福祉フォーラムジャパン
2017 年 10 月 22 日（日）新宿パークタワー23 階（東京）

神馬征峰, 笹川恵美（講師）
第 18 回母子手帳勉強会
主催：一般社団法人　親子健康手帳普及協会
2017 年 12 月 4 日（月）衆議院第一議員会館　国際会議室（東京）

### （6）受賞

島沙槻、春名めぐみ、松崎政代、笹川恵美、米澤かおり
第 35 回東京母性衛生学会学術集会 優秀演題賞受賞
復職後の母乳栄養継続に関連する要因の検討.
2017 年 5 月 28 日 東京大学鉄門記念講堂.（東京）

志賀咲月、春名めぐみ、米澤かおり
第 58 回日本母性衛生学会学術集会 愛育コメディカル賞（優秀演題）受賞
新生児と乳児の顔・臀部・四肢体幹の皮膚トラブル発症時期の実態調査.
2017 年 10 月 6～7 日 神戸国際展示場（兵庫県）

## 3．研究活動

### （1）抄読会 ＆ 研究報告会（毎週火曜日）

平成 29 年度、抄読会において紹介された文献および紹介者は以下の通りである。

前期 2017.4/11～7/18, 後期 2017.9/12～2018.3/13

| 月 日 | 担 当 | 内 容 |
|---|---|---|
| 4 月 11 日 | 春名めぐみ | 母性看護学・助産学教室の研究の紹介<br>抄読会オリエンテーション |
| 4 月 18 日 | 井上璃子 | De Schepper, Vercauteren, Tersago, Jacquemyn, Raes, Franck. (2016). Post-Traumatic Stress Disorder after childbirth and the influence of maternity team care during labour and birth: A cohort study. *Midwifery*, 32,87-92.（クリティーク 臼井） |
| | 日下桃子 | 博士論文発表練習 |
| 4 月 25 日 | 細矢絵美 | Colicchia LC, Parviainen K, Chang JC. (2016). Social Contributors to Glycemic Control in Gestational Diabetes Mellitus. *Obstet Gynecol*, 128(6):1333-1339. (クリティーク 井上) |
| | 笹川恵美 | 研究報告 |
| 5 月 2 日 | 志賀咲月 | Garcia Bartels N, Scheufele R, Prosch F, Schink T, Proquitté H, Wauer RR, Blume-Peytavi U. (2010). Effect of standardized skin care regimens on neonatal skin barrier function in different body areas. *Pediatr Dermatol*, 27(1):1-8.（クリティーク 浅井） |
| | 細矢絵美 | 修士論文進捗報告 |
| 5 月 9 日 | 臼井由利子 | Miura A, Fujiwara T. (2017). Intimate Partner Violence during Pregnancy and Postpartum Depression in Japan: A Cross-sectional Study. *Front Public Health*, 5:81.（クリティーク 志賀） |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| 5 月 16 日 | 中西愛海 | Iarkowski LE, Tierney NK, Horowitz P. (2013). Tolerance of skin care regimen in healthy, full-term neonates. *Clin Cosmet Investig Dermatol*, 29;6:137-44.（クリティーク 米澤） |
| | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| 5 月 23 日 | 菅原千敬 | Boskabadi H, Ramazanzadeh M, Zakerihamidi M, Rezagholizade Omran F. (2014). Risk Factors of Breast Problems in Mothers and Its Effects on Newborns. *Iran Red Crescent Med J*, 16(6): e8582.（クリティーク 笹川） |
| | 米澤かおり | 東京母性衛生学会予行 |

| | | |
|---|---|---|
| | 臼井由利子 | 東京母性衛生学会予行 |
| | 島沙槻 | 東京母性衛生学会予行 |
| 5 月 30 日 | 瀬戸口舞嘉 | Maimburg RD, Vaeth M, Dürr J, Hvidman L, Olsen J. (2010). Randomised trial of structured antenatal training sessions to improve the birth process. *BJOG*, 117(8):921-8.（クリティーク　疋田） |
| | 米澤かおり | 研究報告 |
| 6 月 6 日 | 比佐加奈子 | Nohara M, Momoeda M, Kubota T, Nakabayashi M. (2011). Menstrual cycle and menstrual pain problems and related risk factors among Japanese female workers. *Ind Health*,. 49(2):228-34.（クリティーク　春名） |
| | 疋田直子 | 研究報告 |
| 6 月 20 日 | 疋田直子 | Chi YC, Sha F, Yip PS, Chen JL, Chen YY. (2016) Randomized comparison of group versus individual educational interventions for pregnant women to reduce their secondhand smoke exposure. *Medicine (Baltimore)*, 95(40):e5072.（クリティーク　比佐） |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| 6 月 27 日 | 笹川恵美 | Toohill J, Fenwick J, Gamble J, Creedy DK, Buist A, Turkstra E, Ryding EL.　(2014). A randomized controlled trial of a psycho-education intervention by midwives in reducing childbirth fear in pregnant women. *Birth*, 41(4):384-94.（クリティーク　瀬戸口） |
| | 菅原千敬 | 修士論文相談 |
| | 中西愛海 | 修士論文相談 |
| 7 月 4 日 | | 母性看護・家族看護合同抄読会 |
| | 浅井百合絵 | 博士論文計画　（家族看護：大城怜　博士論文計画） |
| 7 月 11 日 | 米澤かおり | Scott JA, Robertson M, Fitzpatrick J, Knight C, Mulholland S. (2008). Occurrence of lactational mastitis and medical management: a prospective cohort study in Glasgow. *Int Breastfeed J*, 3:21.（クリティーク 菅原） |
| | 瀬戸口舞嘉 | 修士論文相談 |
| | 比佐加奈子 | 修士論文相談 |
| | 細矢絵美 | 修士論文進捗報告 |
| 7 月 18 日 | 春名めぐみ | Hutchinson AD, Charters M, Prichard I, Fletcher C, Wilson C. (2017). Understanding maternal dietary choices during pregnancy: The role of social norms and mindful eating. *Appetite*, 112:227-234.（クリティーク　中西） |
| | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| 9 月 12 日 | 中西愛海 | 修士論文相談 |
| 9 月 19 日 | | 母性看護・家族看護合同抄読会 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 細矢絵美 | 修士論文進捗報告 |
| | | （家族看護学：村田翔、小林明日香、林真由　修士論文進捗報告） |
| 9 月 26 日 | 比佐加奈子 | Hammarberg K, Rowe HJ, Fisher JR. (2009) Early post-partum adjustment and admission to parenting services in Victoria, Australia after assisted conception. *Hum Reprod*, 24(11):2801-9.（クリティーク　米澤） |
| | 菅原千敬 | 修士論文相談 |
| 10 月 3 日 | 瀬戸口舞嘉 | Tandon SD, Cluxton-Keller F, Leis J, Le HN, Perry DF. (2012). A comparison of three screening tools to identify perinatal depression among low-income African American women. *J Affect Disord*, 136(1-2):155-162.（クリティーク 春名） |
| | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告、日本母性衛生学会予行 |

| | | |
|---|---|---|
| | 米澤かおり | 日本母性衛生学会予行 |
| 10 月 10 日 | 菅原千敬 | Khanal V, Scott JA, Lee AH, Binns CW. (2015). Incidence of Mastitis in the Neonatal Period in a Traditional Breastfeeding Society: Results of a Cohort Study. *Breastfeed Med*, 10(10):481-7.（クリティーク　疋田） |
| | 瀬戸口舞嘉 | 修士論文相談 |
| 10 月 17 日 | 中西愛海 | Garcia Bartels N, Lünnemann L, Stroux A, Kottner J, Serrano J, Blume-Peytavi U. (2014) Effect of diaper cream and wet wipes on skin barrier properties in infants: a prospective randomized controlled trial. *Pediatr Dermatol*, 31(6):683-91.（クリティーク　笹川） |
| | 比佐加奈子 | 修士論文相談 |
| 10 月 24 日 | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 疋田直子 | グローバルヘルス合同大会予行 |
| 10 月 31 日 | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 米澤かおり | 研究報告 |
| | 笹川恵美 | グローバルヘルス合同大会予行 |
| 11 月 7 日 | 中西愛海 | 修士論文計画 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 笹川恵美 | エルサルバドル大使館発表練習 |
| 11 月 14 日 | 瀬戸口舞嘉 | 修士論文計画 |
| | 疋田直子 | 研究報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| 11 月 21 日 | 菅原千敬 | 修士論文計画 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| 11 月 28 日 | 比佐加奈子 | 修士論文計画 |
| | 三宮柾名 | 卒業論文進捗報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| 12 月 5 日 | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| 12 月 12 日 | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 三宮柾名 | 卒業論文進捗報告 |
| 12 月 19 日 | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 細矢絵美 | 修士論文進捗報告 |
| 12 月 26 日 | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 細矢絵美 | 修士論文進捗報告 |
| 1 月 4 日 | 志賀咲月 | 修士論文進捗報告 |
| | 井上璃子 | 修士論文進捗報告 |
| | 細矢絵美 | 修士論文進捗報告 |
| 1 月 12 日 | 志賀咲月 | 修士論文発表練習 |
| | 井上璃子 | 修士論文発表練習 |

| | | |
|---|---|---|
| | 細矢絵美 | 修士論文発表練習 |
| 1 月 16 日 | 志賀咲月 | 修士論文発表練習 |
| | 井上璃子 | 修士論文発表練習 |
| | 細矢絵美 | 修士論文発表練習 |
| 1 月 23 日 | 志賀咲月 | 修士論文発表練習 |
| | 井上璃子 | 修士論文発表練習 |
| | 細矢絵美 | 修士論文発表練習 |
| 1 月 30 日 | 瀬戸口舞嘉 | 修士論文計画 |
| | 比佐加奈子 | 修士論文計画 |
| | 三宮柾名 | 卒業論文発表 |
| 2 月 7 日 | 菅原千敬 | 修士論文計画 |
| | 中西愛海 | 修士論文計画 |
| | 比佐加奈子 | Bye A, Shawe J, Stephenson J, Bick D, Brima N, Micali N. (2016). Differences in pre-conception and pregnancy healthy lifestyle advice by maternal BMI: Findings from a cross sectional survey. *Midwifery*, 42:38-45. （クリティーク　細矢） |
| 2 月 13 日 | | 母性看護・家族看護合同抄読会 |
| | 菅原千敬 | 修士論文計画 |
| | 瀬戸口舞嘉 | 修士論文計画 |
| | 中西愛海 | 修士論文計画 |
| | 比佐加奈子 | 修士論文計画 |
| | | （家族看護学：松永百恵、上原奈々　修士論文計画） |
| 2 月 20 日 | 菅原千敬 | Branch-Elliman W, Lee GM, Golen TH, Gold HS, Baldini LM, Wright SB. (2013). Health and economic burden of post-partum Staphylococcus aureus breast abscess. *PLoS One*, 5;8(9):e73155.（クリティーク　浅井） |
| | 春名めぐみ | 日本助産学会予行 |
| 2 月 27 日 | 瀬戸口舞嘉 | Fenwick J, Gamble J, Nathan E, Bayes S, Hauck Y. (2009). Pre- and postpartum levels of childbirth fear and the relationship to birth outcomes in a cohort of Australian women. *J Clin Nurs*, 18(5):667-77.（クリティーク　井上） |
| | 浅井百合絵 | 博士論文計画 |
| | 米澤かおり | 日本助産学会予行 |
| 3 月 13 日 | 中西愛海 | Kondo-Endo K, Ohashi Y, Nakagawa H, Katsunuma T, Ohya Y, Kamibeppu K, Masuko I. (2009). Development and validation of a questionnaire measuring quality of life in primary caregivers of children with atopic dermatitis (QPCAD). *Br J Dermatol*, 161(3):617-25.（クリティーク　志賀） |

## （2）研究プロジェクト

春名めぐみ，松崎政代、白石三恵，村山陵子，島田三惠子.
妊娠・出産を契機とした働く女性の健康支援プログラムの構築と検証
平成 25～29 年度（延長）科学研究費補助金 基盤研究(B).

春名めぐみ
働く女性の健康とライフプランに関する調査
平成 28 年 8 月～平成 29 年 8 月　東京大学と株式会社三菱総合研究所との共同研究

笹川恵美
エルサルバドル国立女性病院における科学的根拠に基づいた人間的出産プロジェクト
2016 年度第 1 回 JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）
平成 29 年 12 月～平成 34 年 12 月

笹川恵美, 春名めぐみ
エルサルバドルにおける「暴力的出産」削減に向けた戦略の構築 －ジェンダーに基づく暴力としての産科医療・分娩時ケアの実態調査－. 2017 年度 一般財団法人　竹村和子フェミニズム基金　助成金

米澤かおり
食物アレルギー予防を目標とした 2 歳児の食物アレルギーと乳児期の皮膚トラブルとの関連検討. 第 54 回（平成 28 年度）三島海雲記念財団　学術研究奨励金

米澤かおり，春名めぐみ，志賀咲月
皮膚バリア機能と皮膚常在菌組成の安定に適した洗浄剤と洗浄方法の検討
平成 29 年度ホーユー科学財団研究助成

米澤かおり
乳児の健康な皮膚バリア機能発達と皮膚常在菌叢形成に対するスキンケアの効果検討
文部科学省科学研究費　若手研究 B　平成 29 年度～31 年

疋田直子
モンゴル国妊婦の受動喫煙の実態把握と受動喫煙評価方法の構築
平成 29～30 年度　科学研究費補助金　研究活動スタート支援

## ４．教育活動

### （1）学部講義

**1) 母性看護学**　3 年後期Ⅰ-1・2

目的：人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち、妊娠、分娩、産褥各期を中心に、その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計画、実施、評価法を学習する。

参考書：系統看護学講座　専門 24・25　母性看護学概論・各論〔1〕〔2〕　医学書院

講義スケジュール

| 日程 | 時間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 9 月 28 日（木） | 8:30～12:10 | 母性看護概論・妊娠期の看護 | 春名 |
| 10 月 3 日（火） | 16:50～18:35 | 分娩期の経過（正常・異常）・産褥期の異常 | 永松 |
| 10 月 5 日（木） | 8:30～12:10 | 分娩期の看護 | 関口 |
| 10 月 10 日（火） | 16:50～18:35 | （休講） | |
| 10 月 12 日（木） | 10:25～12:10 | 産褥期の経過と看護 | 疋田 |
| 10 月 19 日（木） | 8:30～12:10 | 自然出産と助産師の仕事 | 三宅 |
| 10 月 26 日（木） | 8:30～12:10 | 妊産褥婦，新生児の事例展開 | 笹川 |
| 11 月 2 日（木） | 8:30～12:10 | 新生児（正常・ハイリスク）の看護 | 近藤 |
| 11 月 9 日（木） | 8:30～12:10 | 施設内分娩における助産師の役割・試験 | 石川 |

非常勤講師：永松健　東京大学医学部附属病院　女性診療科・産科 准教授
関口恵理子 東京大学医学部附属病院女性診療科・産科病棟主任副看護師長
近藤好枝　慶応義塾大学　看護医療学部　教授
石川紀子　静岡県立大学　看護学部　准教授
三宅はつえ ももの み助産院 出張開業助産師 日本助産師会　元茨城県支部長

**2) 健康科学・看護学概論**

対象：2 年生（進学予定学生）
期日：4 学期　平成 29 年 11 月 6 日（月）
講義題目：「妊娠・出産をめぐる社会の変化と課題」
担当：春名めぐみ

**3) 在宅看護論**

対象：4 年生
期日：後期Ⅱ　平成 30 年 1 月 19 日（月）
講義題目：「在宅看護学―小児の先天性疾患とケア―」
担当：米澤かおり

**4) 看護学概論Ⅰ：生きることを支える科学**（総合科学：人間・環境一般）

対象：駒場 1・2 年生

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 4 月 20 日（木） | 16:50～18:35 | 世界の健康を支えたい | 笹川 |
| 7 月 6 日（木） | 16:50～18:35 | いのちの誕生を支える | 春名 |

5) **看護学概論Ⅱ：社会で活躍する看護プロフェッショナル**（総合科学：人間・環境一般）

対象:駒場 1･2 年生
日程：平成 29 年 12 月 21 日（木）
講義題目：育児の始まりを支える―助産師にできること
担当：米澤かおり

6) **公共健康科学統合講義Ⅱ**

対象：健康総合科学科学部生
日程：平成 29 年 4 月 13 日（木）
講義題目：母子の健康
担当：春名めぐみ

## （2）学部実習

**1) 母性看護学実習**　4 学年前Ⅱ

対象：　4 年生
担当：　春名めぐみ，笹川恵美，米澤かおり，疋田直子
目的：　妊婦、産婦、褥婦および新生児とその家族を理解し、対象に応じた看護を実践できる知識・技術を養い、態度を培う。
期間：　平成 29 年 6 月 12 日（月）～6 月 23 日（金）　（1 グループ 2 週間）
実習施設：東京大学医学部附属病院
入院棟 A3 階南　女性診療科・産科病棟・NICU
女性診療科・産科外来
実習時間：　8：00～16：00（外来 8：30～）

**2)** 母性看護学実習　3学年後期Ⅰ・Ⅱ

対象：　3年生

担当：　春名めぐみ，笹川恵美，米澤かおり，疋田直子

目的：　妊婦、産婦、褥婦および新生児とその家族を理解し、対象に応じた看護を実践できる知識・技術を養い、態度を培う。

期間：　平成29年10月13日（金）～12月8日（金）
　　平成30年2月13日（火）～23日（金）　（1グループ2週間）

実習施設：東京大学医学部附属病院
　　入院棟A3階南　女性診療科・産科病棟・NICU
　　女性診療科・産科外来
　　東都文京病院、矢島助産院、ウパウパハウス岡本助産院

実習時間：　8：00～16：00（外来8：30～）

**3)** 保健学実験・検査法実習（ラボメソ）

対象：　3年生

担当：米澤かおり（看護学系教室担当：生理学）

目的：　人の「体」を統合体として捉えることができるよう人体の形態・機能を評価する方法を理解し習得する。

日程：　平成29年6月 5日（月）～6月9日（金）
　　看護学系教室担当　6月7日（水）

## （3）大学院講義

**1)** 母性看護学・助産学特論Ⅰ

目的：母性看護学・助産学分野における現在のニーズ・課題、最新の研究の動向について把握し、今後の研究課題を考察するために必要な科学的思考を身につける。具体的には、根拠に基づく医療・看護と文献レビューの基本的な考え方および方法論について学ぶ。

方法：根拠に基づく医療・看護（Evidence-based Medicine・Nursing）と文献レビューの基本的な考え方および方法論について、演習を通して学ぶ。
　　非常勤講師による講義では、最新の知見・動向をもとにディスカッションを行う。

参考書：


・Higgins JPT, Green S (editors). Cochrane Handbook for Systematic Reviews of Interventions Version 5.1.0 [updated March 2011]. The Cochrane Collaboration, 2011. Available from www.cochrane-handbook.org.

・Sterne, J. A., Egger, M., & Smith, G. D. (2001). Systematic reviews in health care: investigating and dealing with publication and other biases in meta-analysis. *BMJ: British Medical Journal*, 323(7304), 101.

・諏訪敏幸. 看護研究者・医療研究者のための系統的文献検索概説. 近畿病院図書室協議会. 2013.

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 4 月　6 日（木） | 13:00～16:40 | オリエンテーション、EBM の基本と考え方 | 春名 |
| 4 月 13 日（水） | 13:00～16:40 | PICO から検索、バイアスの評価の方法 | 大田 |
| 4 月 20 日（水） | 13:00～16:40 | メタ解析の手法 | 大田 |
| 4 月 27 日（木） | 13:00～16:40 | 文献レビューの基本的な考え方・方法論 | 春名 |
| 5 月　1 日（月） | 13:00～18:35 | 研究疑問と研究計画そして論文を仕上げるまで | 島田 |
| 5 月 11 日（木） | 13:00～16:40 | 研究計画立案・相談 | 春名・笹川・米澤・疋田 |

非常勤講師：　島田三惠子　大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻　教授
　　大田えりか　聖路加国際大学 教授

**2) 母性看護学・助産学特論Ⅱ**

目的：母性看護・助産実践に関連する理論、モデルを学ぶとともに、研究計画の立案、論文作成に必要な知識・技術を身につける。具体的には、実際の研究例をもとに、研究の組み立て方、研究手法、論文作成方法等について学ぶ。さらに当分野におけるトピックスについての討論を通して、論理的な思考方法を学ぶ。

方法：論理的な文章を書くための基本的な考え方と方法論についての演習（トピックスについての討論）、および非常勤講師による講義。

参考書：

・Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams. The Craft of Research (Chicago Guides to Writing, Editing, and Publishing) 2008.
・Gary Blake, Robert W. Bly. Elements of Technical Writing (Longman; 1 版) 1993.
・William Strunk Jr., E. B. White. The Elements of Style, Fourth Edition. (Longman; 4 版) 1999.
・Thomas A. Lang 著、宮崎喜久子・中山健夫訳，トムラングの医学論文「執筆・出版・発表」実践ガイド，シナジー

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 9 月 14 日（木） | 13:00～16:40 | 論理的な文章を書くために 1 | 春名 |
| 9 月 15 日（金） | 13:00～16:40 | Publishing ethics | 米澤 |
| 9 月 25 日（月） | 13:00～16:40 | 論理的な文章を書くために 2 | 春名 |
| 9 月 27 日（水） | 13:00～16:40 | 海外をフィールドとした研究手法 | 笹川 |
| 10 月 11 日（水） | 13:00～16:40 | 助産学に関連する理論とその応用 | 春名 |
| 1 月 18 日（木） | 10:25～16:40 | 助産学教育・研究の課題と展望 | 我部山 |

非常勤講師：　我部山キヨ子　京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授

**3) 助産師教育コース**（助産師教育コース課程履修者必修）

**a. 助産学Ⅰ**　修士課程 1 年前期

目的：助産学の基本概念および助産師の役割と責務、倫理的課題を理解し、専門的自律能力を身に付け、国内外におけるこれからの助産師の役割を考える視点を養う。さらに助産学研究の意義や今後の方向性について考察する力を養う。

参考書：

・助産学講座　1.　助産学概論，医学書院

・助産学講座　2.　母子の基礎科学，医学書院

・プリンシプル産科婦人科学　2.　メジカルビュー社；改訂版

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担 当 |
|---|---|---|---|
| 4 月 5 日（水） | 13:00～16:40 | 概論Ⅰ 助産学の基本的概念・理念と助産の歴史・今後の動向 | 春名 |
| 4 月 7 日（水） | 13:00～14:45 | 概論Ⅱ 助産師の役割と機能および責務 | 春名 |
| ※下記は 9 月 6～13 日開講の M2 講義と合同 | | | |
| 性と生殖Ⅰ：正常月経周期・無月経・更年期ヘルスケア・子宮内膜症 | | | |
| 性と生殖Ⅱ：卵の成熟・精子の発生・受精・不妊症・生殖補助医療 | | | |
| 産科学Ⅰ：妊娠の診断・正常な妊娠経過・胎児発育・妊娠に伴う心理社会的変化 | | | |
| 産科学Ⅱ：妊娠期の異常・診断・治療 | | | |
| 産科学Ⅲ：正常分娩・産褥経過 | | | |
| 産科学Ⅳ：分娩期・産褥期の異常・診断・治療 | | | |

**b. 助産学Ⅱ**　修士課程 1 年前期

目的：周産期および更年期において、助産師が担う重要な相談・教育・援助活動をするための知識・技術を養う。また助産学が対象とする女性の健康増進への理解を深めるとともに、臨床課題を見つけ、科学的根拠に基づく助産ケアを考える力を養う。さらに助産ケアの有効性やその評価方法を考慮した計画立案ができる力を養う。

参考書：

・助産学講座　1.　基礎助産学[1]，医学書院，東京, 2015.

・First, M., Spitzer, R. L., Gibbon, M. and Williams, J. B. W.: Structured Clinical Interview for DSM-IV Axis I Disorders. 高橋三郎（監修）北村俊則，岡野禎治（訳）精神科診断面接マニュアル［第 2 版］．日本評論社，東京，2010.

・北村俊則：だれでもできる精神科診断用構造化面接：SCID 入門，北村メンタルヘルス研究所，2013.

・北村俊則（編）：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論：産後うつ病発症のメカニズムの理解のために．医学書院，東京，2007.
・北村俊則：周産期メンタルヘルススタッフのための心理介入教本．北村メンタルヘルス研究所，2013.

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 6 月　9 日（金） | 13:00～18:35 | 遺伝相談/不妊治療/出生前診断における助産ケア 1・2 | 小笹 |
| 6 月 14 日（水） | 14:00～17:40 | 周産期メンタルヘルス 1 | 北村 |
| 6 月 30 日（金） | 13:00～16:40 | 最新の女性医療・疾病予防（基礎知識）（症例検討） | 対馬 |
| 6 月 30 日（金） | 16:50～18:35 | 最新の女性医療・疾病予防の実践現場（施設見学） | 対馬 |
| 7 月　3 日（月） | 13:00～16:40 | 周産期・更年期における代替医療・東洋医学 | 高橋 |
| 7 月 13 日（木） | 8:30～12:00 | 周産期・更年期における栄養・運動・身体活動・睡眠 | 高橋 |

非常勤講師：高橋真理　　順天堂大学医療看護学部 教授
北村俊則　　北村メンタルヘルス研究所　所長
対馬ルリ子　女性ライフクリニック 院長
小笹由香　　東京医科歯科大学医学部付属病院看護部　看護師長

**c. 助産学Ⅲ**　修士課程 1 年前期

目的：産褥期・育児期を中心とした褥婦および新生児・乳児の健康状態をアセスメントするために、正常及びハイリスク妊産褥婦・新生児・乳児についての基礎的な知識を理解するとともに、健康状態をアセスメントし、母子や家族への適切な助産ケアについて考える。また、ケアの科学的根拠についても把握し、期待される効果について予測するとともに、改善のために必要な研究的アプローチについても考察できる力を養う。

参考書：
・助産学講座　6. 助産診断・技術学Ⅱ[1]，医学書院
・助産学講座　8. 助産診断・技術学Ⅱ[3]，　医学書院
・プリンシプル産科婦人科学　2.　メジカルビュー社; 改訂版
・新生児学入門、第 3 版、医学書院
・編）厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班，科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 年版 (第 1 版) ，金原出版.

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 4 月 26 日（土） | 8:30～12:10 | 正常妊産婦のアセスメントとケア | 米澤 |
| 4 月 26 日（木） | 13:00～14:45 | ハイリスク妊婦のアセスメントとケア | 関口 |
| 4 月 27 日（土） | 8:30～12:10 | 産褥期・乳児期のアセスメントと援助技術 | 笹川 |
| 5 月 13 日（土） | 8:30～16:40 | 授乳期の援助 1・2 | 井村 |
| 9 月 13 日（水） | 14:00～17:40 | 周産期メンタルヘルス・心理的援助技法 1 | 北村 |
| 2 月 21 日（水） | 14:00～17:40 | 周産期メンタルヘルス・心理的援助技法 2 | 北村 |

非常勤講師： 井村真澄　日本赤十字看護大学　教授
関口恵理子　東京大学医学部附属病院女性診療科・産科病棟 主任副看護師長
北村俊則　北村メンタルヘルス研究所　所長

**d. 助産学Ⅳ**　修士課程 1 年前期

目的：分娩期を中心とした産婦・褥婦、および胎児・新生児の健康状態を診断し、適切なケア技術を実施するための基礎的な知識・技術を学ぶ。さらに、産婦の安全、安心、快適、満足な出産の実現に向けたケアの創造と、それを実施できる知識と技術を養う。また分娩時ケアを評価・改善するために必要な方法・技術について考察する力を養う。

参考書：
・助産学講座　3. 母子の健康科学, 医学書院
・助産学講座　7. 助産診断・技術学Ⅱ[2], 医学書院
・助産学講座　8. 助産診断・技術学Ⅱ[3], 医学書院
・基礎から学ぶ産婦人科超音波診断, 東京医学社
・助産師のためのフィジカルイグザミネーション, 医学書院

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 5 月 15 日（月） | 13:00～16:40 | 分娩期アセスメント：経過の予測診断技術 | 笹川 |
| 6 月 1 日（月） | 13:00～14:45 | 分娩介助技術(1)：直接介助法・間接介助法 | 笹川 |
| 6 月 8 日（木） | 14:55～16:40 | 演習①：直接介助法・間接介助法 | 笹川･米澤･疋田 |
| 7 月 5 日（水） | 8:30～10:15 | 分娩介助技術(2)：臨地での分娩介助法 | 関口 |
| 7 月 5 日（水） | 10:25～14:45 | 演習②：分娩介助デモンストレーション | 笹川･米澤･疋田 |
| 7 月 6 日（木） | 10:25～12:10 | 分娩介助技術(3)：異常分娩・産科処置 | 米澤 |
| 7 月 7 日（火） | 14:55～18:35 | 分娩介助技術　演習③：超音波診断技術 | 中山 |

7 月 19 日（水） 8:30～16:40　　分娩介助技術, 演習：フリースタイル分娩　　中根

非常勤講師 : 関口恵理子　東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟　主任副看護師長
中山敏男　　東京大学医学部附属病院　女性診療科・産科
中根直子　　日本赤十字医療センター　看護師長

**e. 助産学Ⅴ**　修士課程 1 年前期

目的 : 妊娠・分娩・産褥期および新生児期における助産診断・援助技術について、その理論的裏付けを考えるとともに、実際に援助できる技術を身に付ける。有効な助産技術について評価・改善する方法についても考察する。さらに緊急時の対応についても学び、継続学習につなげられる力を養う。

参考書 :

・助産学講座　4. 母子の心理・社会学, 医学書院
・助産学講座　5. 助産診断・技術学Ⅰ, 医学書院
・助産学講座　6. 助産診断・技術学Ⅱ[1], 医学書院
・助産学講座　7. 助産診断・技術学Ⅱ[2], 医学書院
・助産学講座　8. 助産診断・技術学Ⅱ[3], 医学書院
・新生児学入門, 第 3 版, 医学書院
・日本版救急蘇生ガイドライン 2010 に基づく新生児蘇生法テキスト　改訂第 3 版 メジカルビュー社

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 5 月 17 日（水） | 8:30～12:10 | 正常新生児の生理と観察のポイント | 近藤 |
| 5 月 17 日（水） | 13:00～14:45 | 正常・ハイリスク新生児の観察とケアのポイント | 近藤 |
| 6 月 12 日（月） | 13:00～ 16:40 | 妊婦のフィジカルアセスメント | 春名･笹川･米澤･疋田 |
| 7 月 10 日（月） | 13:00～16:40 | 新生児蘇生技術（NCPR　B コース） | 天願 |
| 7 月 10 日（月） | 16:50～ 18:35 | NICU での児と家族の看護 | 天願 |
| 7 月 12 日（水） | 8:30～12:10 | 事例による助産計画の展開 | 笹川 |
| 7 月 12 日（水） | 10:25～ 14:45 | 分娩期のケア：PICO による根拠にもとづくケア | 米澤 |
| 2 月 23 日（金） | 13:00～ 16:40 | 会陰切開・縫合術・産科救急 | 春名･笹川･米澤･疋田 |

非常勤講師 : 天願愛　　東京大学医学部附属病院 NICU　主任副看護師長
近藤好枝　慶應義塾大学　看護医療学部　教授

**f. 助産学Ⅵ**　修士課程１年前期

目的：助産業務を安全に・円滑に遂行するために必要な助産管理・運営の原理と技法、法的側面についての知識を深め、助産師の社会的役割についての責務を理解する。さらに理論やモデルを踏まえ、助産師の様々な活動の評価、改善のための方策について学ぶ。

参考書：

・編集）厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班, 科学的根拠に基づく 快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 年版 (第 1 版) ,金原出版, 東京.
・日本産婦人科学会・医会，産婦人科診療ガイドライン 2014, 日本産婦人科学会出版
・助産学講座 10　助産管理 医学書院
・日本助産師会刊　「助産所開業マニュアル」
・メディカ出版　「周産期管理・看護マニュアル－正常産からハイリスクまで」
・愛育病院　「マタニティノート」

講義スケジュール

| 日 程 | 時 間 | 講義題目 | 担当 |
|---|---|---|---|
| 5 月 29 日（月） | 13:00～14:45 | クリニカルガイドライン 1：妊娠・出産 | 疋田 |
| 6 月　1 日（木） | 13:00～16:40 | クリニカルガイドライン 2：分娩管理 | 米澤 |
| 6 月 17 日（土） | 13:00～16:40 | 助産院における助産管理 | 杉山 |
| 6 月 21 日（水） | 13:00～16:40 | 病院における助産管理 | 小松 |
| 6 月 26 日（月） | 13:00～14:45 | 助産管理の基本概念とプロセス、要点と特徴 | 春名 |

非常勤講師：小松　佐紀　　総合母子保健センター愛育病院　看護部長
杉山富士子　ファン助産院　院長

## （3） 大学院実習

**1) 助産師教育コース**（助産師教育コース履修者必修）

**a. 助産学管理実習**　修士課程１年夏期

担当：春名めぐみ，笹川恵美，米澤かおり，疋田直子

目的：助産院および病院における助産業務管理の実際を学び、それぞれの施設のおける助産管理・運営、ケア内容や助産師の役割を比較・検討する。さらに、ケアの受け手から求められるサービス提供のあり方、ケアの受け手とのエンパワーメント、他職種との連携について、文献等を用いて考察し、理論的に考える視点を養う。

期間：平成 29 年 6 月 17・19 日，6 月 21～22 日，7 月 8 日

実習施設：総合母子保健センター愛育病院、ファン助産院

実習時間： 8：00～16：00

**b. 助産学実践実習Ⅰ**　修士課程1年夏期～後期

担当：春名めぐみ，笹川恵美，米澤かおり，疋田直子

目的：妊婦外来・助産師外来において、妊娠の診断および妊娠経過を把握でき、妊娠期を安全に継続するための個別的な助産ケアを計画、実践する方法を学ぶ。また、対象の背景や分娩・産褥・新生児期の経過をふまえ、退院後の生活を視野にいれた予防的な助産ケアを実践、評価する能力を養う。さらに、家庭訪問等の継続的なケアの実施を通し、母子保健医療チームのあり方や、母子とその家族がより健康な経過をたどるための支援方法を学ぶ。症例を通して、対象理解を深め、研究課題を考察していく力を養う。

期間：産褥継続実習　平成29年10月23日～平成30年8月31日
産科外来実習　平成29年7月24日～8月4日
助産院の妊婦健診・産後ケア　平成30年1月21日～2月1日　うち1週間

実習施設：　東京大学医学部附属病院
（女性診療科・産科病棟，女性診療科・産科外来）
みづき助産院

実習時間：　8：00～16：00（外来8：30～）

**c. 助産学実践実習Ⅱ**　修士課程1年後期

担当：春名めぐみ，笹川恵美,，米澤かおり，疋田直子，窪田裕子

目的：分娩介助実習において、分娩期を中心とした産婦・褥婦、および胎児・新生児の健康状態をアセスメントし、適切な助産技術を実施するための基礎的な知識・技術・態度を習得し、実践する。さらに、安全、安心、快適、満足なお産の実現に向けた助産ケアの創造のために必要な知識・技術を習得し、継続学習につなげる。

期間：分娩介助実習

| | | |
|---|---|---|
| 病院実習 | 平成29年7月24日～29年12月20日 | うち11週 |
| 助産院実習 | 平成29年 9月29日～10月 28日 | うち1週 |
| 助産院実習 | 平成30年 1月 22日～2月3日 | うち1週 |

実習施設：東京大学医学部附属病院　女性診療科・産科病棟
総合母子保健センター　愛育病院　LDR室
ファン助産院
矢島助産院

### （4） 博士論文

日下桃子
「妊婦中のヨガのストレス緩和効果：唾液中コルチゾールを指標としたランダム化比較対照試験」

### （5） 修士論文

井上璃子
「Factors associated with an increased postnatal fear of childbirth among primiparas: A prospectiveobservational study」
（初産婦における産後の出産恐怖感の増大に関連する要因：前向き観察研究）

志賀咲月
「Relationship between the skin barrier function of 2-week old infants after bathing and facial skin problems during the first 6 weeks of life: A prospective observational study」
（生後 2 週の沐浴後の皮膚バリア機能と生後 6 週までの顔の皮膚トラブルとの関連：前向き観察研究）

細矢絵美
「Physical activity measured by accelerometer among women with gestational diabetes mellitus: a cross-sectional observational study」
（妊娠糖尿病妊婦における活動量計を用いた身体活動状況に関する調査：横断観察研究）

## 5．学内外の活動

### （1）学内の活動・役割

| | | |
|---|---|---|
| 春名めぐみ | 化学物質管理担当者 | 平成 15 年　4 月～ |
| | 女性休養室管理担当者 | 平成 21 年 10 月～ |
| | 男女共同参画委員会委員 | 平成 27 年 4 月～ |
| | 医学部倫理委員会委員 | 平成 27 年 4 月～ |
| | 健康総合科学科　教育委員 | 平成 28 年 4 月～ |
| | 教職課程・学芸員等部会 委員 | 平成 29 年 4 月～ |
| 笹川恵美 | 倫理指導委員 | 平成 27 年　4 月～ |

## （2）学外の活動・役割

春名めぐみ

| | |
|---|---|
| 日本母性衛生学会・総務部幹事・専任査読者 | 平成 15 年 12 月～ |
| 編集委員 | 平成 27 年 9 月～ |
| 周産期メンタルヘルス研究会（PSI-JAPAN）理事 | 平成 19 年　4 月～ |
| 日本周産期メンタルヘルス学会　理事 | 平成 22 年　4 月～ |
| 日本助産学会・専任査読者・編集委員（和文誌・英文誌） | 平成 20 年　6 月～ |
| | 平成 24 年　3 月 |
| 日本助産学会　理事　総務・会計 | 平成 26 年　4 月～ |
| | 平成 30 年　3 月 |
| 日本助産評価機構　第三者教育評価　評価員（主査） | 平成 27 年　6 月～ |
| 日本臨床アロマセラピー学会　理事 | 平成 25 年　9 月～ |
| 日本看護科学学会　和文誌編集委員 | 平成 27 年　7 月～ |
| Editor of Asian Nursing Research | 平成 28 年～ |
| PLOS ONE Reviewer | 平成 29 年～ |

笹川恵美

| | |
|---|---|
| 全国助産師教育協議会・選挙管理委員会　委員 | 平成 28 年 10 月～ |
| 全国助産師教育協議会・国際関連活動委員会　委員 | 平成 29 年 7 月～ |
| 日本助産学会・専任査読委員 | 平成 29 年 2 月～ |
| 日本国際看護学会誌　査読者 | 平成 29 年～ |
| American Journal of Tropical Medicine & Hygiene　査読者 | 平成 29 年～ |

米澤かおり

| | |
|---|---|
| 日本母性衛生学会　査読委員 | 平成 29 年 9 月～ |
| 日本助産学会　専任査読委員 | 平成 29 年 4 月～ |

疋田直子

| | |
|---|---|
| PLOS ONE Reviewer | 平成 30 年～ |
| 全国助産師教育協議会・腟鏡診および子宮頸がん検査教育案作成ワーキンググループ メンバー | 平成 30 年 3 月～ |

### （3）その他（学内外における講義・講演など）

春名めぐみ

「国際助産師の日」第26回愛知研修会　講師

講義題目：『災害から赤ちゃんとママを守るために』

我が家の防災ノートを作りましょう

平成29年5月27日（土）ウインク愛知（愛知）

笹川恵美

「助産学特論X」特別講師

講義題目：国際母子保健活動の実際（中南米）

顧みられない熱帯病と母子保健

平成29年5月26日（金）国際医療福祉大学大学院

## 6．教室日誌

| | | |
|---|---|---|
| 2017年 | 4月　3日 | 健康総合科学科進学式 |
| | | 看護系教員顔合わせ |
| | | 専攻ガイダンス |
| | 4月　4日 | 母性看護学・助産学教室 顔合わせ・新入生ガイダンス |
| | | 助産師教育コース　ガイダンス |
| | | ウェルカムランチ |
| | 4月　5日～5月 24日 | 母性看護学・助産学特論Ⅰ　講義 |
| | 4月11日 | 東大病院産婦人科合同・新人歓迎会 |
| | 4月11日～　5月 2日 | 救急処置　講義 |
| | 4月　5日～9月13日 | 助産学Ⅰ　講義 |
| | 4月　6日～5月11日 | 母性看護学・助産学特論Ⅰ　講義 |
| | 4月 26日～2月21日 | 助産学Ⅲ　講義 |
| | 5月 11日 | 平成29年度第1回病院看護部および健康科学・看護学科 |
| | | 看護系教員連絡会議，東大病院実習打ち合わせ |
| | 5月 13日 | 健康科学・看護学専攻　入試説明会 |
| | 5月 15日～　7月 19日 | 助産学Ⅳ　講義 |
| | 5月 17日～　2月 23日 | 助産学Ⅴ　講義・演習 |
| | 5月 29日～6月 26日 | 助産学Ⅵ　講義 |
| | 6月　7日 | ラボメソ生理学 担当 |
| | | 第1回愛育病院5校合同会議 |

| | | |
|---|---|---|
| | 6月　9日～ 7月 13日 | 助産学Ⅱ　講義 |
| | 7月 24日～ 3月31日 | 助産学実践実習Ⅰ（東大病院） |
| | 6月 12日～ 6月23日 | 母性看護学実習 |
| | 6月17 日～ 7月 8日 | 助産学管理実習 |
| | 7月 24日～ 2月 3日 | 助産学実践実習Ⅱ（東大病院・愛育病院・ファン助産院・矢島助産院） |
| | 9月 14日～ 1月 18日 | 母性看護学・助産学特論Ⅱ　講義 |
| | 10月21日 | 櫻蔭同窓会（東大助産師教育）総会・講演会・懇親会 |
| | 9月 28日～11月 9日 | 母性看護学　講義 |
| | 10月 29日 | 第7回　東大看護研究シンポジウム |
| | 11月　6日 | 健康科学・看護学概論　講義 |
| | 12月　8日 | 神奈川県助産師会　実習合同連絡会議 |
| | 12月 14日 | 平成29年度第2回病院看護部および健康科学・看護学科看護系教員連絡会議 |
| 2018年 | 1月 21日～ 2月 1日 | 助産学実践実習Ⅰ（みづき助産院） |
| 2018年 | 1月 25日, 26日 | 修士論文発表会 |
| | 2月　6日 | 卒業論文発表会 |
| | 2月　9日 | 卒論ガイダンス |
| | 2月 13日～ 2月23日 | 母性看護学実習 |
| | 2月 16日 | 第2回愛育病院5校合同会議 |
| | 3月 14日 | 専攻看護系送別会 |
| | 3月 19日 | 専攻看護系　博士修了生　発表会<br>母性看護学・助産学教室 忘年度会 |
| | 3月 20日 | 母性看護学・助産学教室 大掃除 |
| | 3月 22日 | 健康科学・看護学専攻　学位授与式 |
| | 3月 23日 | 健康総合科学科　卒業式・謝恩会 |

# 7．教室員名簿

―＜2017 年度＞

| 職名 | 氏名 | 勤務先<br>名称・住所 |
|---|---|---|
| 准教授<br>2012.4.1～ | 春名　めぐみ | 東京大学大学院 医学系研究科<br>健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野 |
| 助教<br>2015.4.1～ | 笹川　恵美 | 同　上 |
| 助教<br>2016.5.16～ | 米澤　かおり | 同　上 |
| 助教<br>2017.4.1～ | 疋田　直子 | 同　上 |
| 非常勤講師（大学院）<br>2002.10～ | 高橋　真理 | 順天堂大学大学院　医療看護学研究科<br>〒279-0023　千葉県浦安市高須 2-5-1 |
| 非常勤講師（大学院）<br>2006.4～ | 我部山　キヨ子 | 大垣女子短期大学　看護学科<br>〒503-8554　岐阜県大垣市西之川町 1 丁目 109 番地 |
| 非常勤講師（大学院）<br>2003.4～ | 島田　三惠子 | 大阪大学大学院　　医学系研究科<br>〒565-0871　大阪府吹田市山田丘 1-7 |
| 非常勤講師（学部/母性看護学,<br>大学院/助産学）<br>2003.4～ | 近藤　好枝 | 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科<br>〒252-0883　神奈川県藤沢市遠藤 4411 |
| 非常勤講師（学部/母性看護学）<br>2002.10～ | 三宅　はつえ | もものみ助産院（出張開業）<br>〒306-0023　　茨城県古河市本町 4-7-1-2-503 |
| 非常勤講師（学部/母性看護学）<br>2007.4～ | 石川　紀子 | 恩寵財団母子愛育会総合母子保健センター　愛育病院<br>〒106-8580　東京都港区南麻布 5-6-8 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2013.4～ | 小笹　由香 | 東京医科歯科大学医学部附属病院<br>〒113-8519　　東京都文京区湯島 1-5-45 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2006.4～ | 井村　真澄 | 日本赤十字看護大学母性看護学、大学院国際保健助産学<br>〒150-0012　　東京都渋谷区広尾 4-1-3 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2005.4～ | 対馬　ルリ子 | 医療法人社団　ウィミンズ・ウェルネス<br>対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座<br>〒104-0061　東京都中央区銀座 2-6-5　7 階 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2005.4～ | 中根　直子 | 日本赤十字社医療センター<br>〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-22 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2014.4～ | 北村　俊則 | 北村メンタルヘルス研究所<br>〒107-0052　東京都港区赤坂 8-5-13-101 |
| 非常勤講師（学部/母性看護学）<br>2013.4～ | 永松　健 | 東京大学 医学部　産科婦人科学教室 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2017.4～ | 中山　敏男 | 東京大学 医学部　産科婦人科学教室 |
| 非常勤講師（学部/母性看護学,<br>大学院/助産学））2013.4～ | 関口　恵理子 | 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 |
| 非常勤講師（大学院/助産学）<br>2011.4～ | 天願　愛 | 東京大学医学部附属病院 ＮＩＣＵ |
| 大学院生（休学中）<br>2014.4～ | 臼井　由利子 | 東京大学大学院 医学系研究科<br>健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野 |

| | | |
|---|---|---|
| 大学院生（博士1年）<br>2014.4～ | 浅井　百合絵 | 同　上 |
| 大学院生（休学中）<br>2014.4～ | 小林　里沙 | 同　上 |
| 大学院生（休学中）<br>2014.4～ | 山路　未来 | 同　上 |
| 大学院生（休学中）<br>2014.4～ | 渡部　紗智 | 同　上 |
| 大学院生（修士2年）<br>2016.4～ | 井上　璃子 | 同　上 |
| 大学院生（修士2年）<br>2016.4～ | 志賀　咲月 | 同　上 |
| 大学院生（修士2年）<br>2016.4～ | 細矢　絵美 | 同　上 |
| 大学院生（修士1年）<br>2017.4～ | 菅原　千敬 | 同　上 |
| 大学院生（修士1年）<br>2017.4～ | 瀬戸口　舞嘉 | 同　上 |
| 大学院生（修士1年）<br>2017.4～ | 中西　愛海 | 同　上 |
| 大学院生（修士1年）<br>2017.4～ | 比佐　加奈子 | 同　上 |
| 客員研究員<br>2012.4～ | 堀田　久美 | 同　上 |
| 客員研究員<br>2015.4～ | 白石　三恵 | 同　上 |
| 客員研究員<br>2017.4～ | 松崎　政代 | 同　上 |
| 客員研究員<br>2017.4～ | 南谷　真理子 | 同　上 |
| 客員研究員<br>2017.10～ | 芦田　沙矢香 | 同　上 |
| 事務補佐員<br>2006.7～2011.7，2011.10～2016.3<br>2016.10～ | 渡部　由美 | 東京大学大学院 医学系研究科<br>健康科学・看護学専攻,母性看護学・助産学分野 |
| 学術支援職員（助産実習指導員）<br>2016.11～2017.3 | 窪田　裕子 | 同　上 |

| | |
|---|---|
| 母性看護学・助産学分野年報 | 第 16 号 |
| 発行年月日： | 2018 年 3 月 31 日 |
| 発行責任者： | 〒113-0033　東京都文京区本郷 7-3-1<br>東京大学大学院医学系研究科<br>健康科学・看護学専攻<br>母性看護学・助産学分野<br>春名めぐみ<br>Tel & Fax: 03-5841-3396 |